

あなたとつなぐ

甲賀
こうが

市議会だより

KOKA city assembly report

令和5年(2023)02.01

vol.73



 Contents

- 02 今年の抱負
- 05 11月臨時会議案審議
- 06 12月定例会議案審議ピックアップ
- 08 常任委員会日誌
- 11 一般質問／市の考えを問う
- 20 組合議会報告
- 21 広報広聴委員会
- 24 【シリーズあなたとつなぐ】eこころステーション

PHOTO [力をあわせて餅つきぺったん]

今年の抱負



議長【凜風会】
谷永 兼一

すべては市民のために、持続可能な甲賀市のために。これに尽きると思います。

議会は意思決定機関であり、市民の意思の代弁、事務執行の監視機能、立案機能の責務を負っています。経験を活かし、強靱かつ新しい視点で臨みます。



副議長【誠翔会】
戎脇 浩
議会運営委員
厚生文教常任委員
予算決算常任委員
広報広聴委員長
公立甲賀病院組合議会議員

一議員として活動の指針としている「市民の皆様のお役に立つこと」を忘れることなく、議会を代表する立場の一人として、また正しい議会運営を通して、より市民の皆様に近い議会になるための努力を重ねて参ります。



福井 進
【無党派】
総務常任委員
予算決算常任委員
広報広聴委員

子どもは未来！今と未来の両立を目指して共働でのまちづくりを進めます。



西山 実
【日本共産党甲賀市議員団】
産業建設常任委員
予算決算常任委員
広報広聴委員
公立甲賀病院組合議会議員

初心を忘れず、市民の苦難軽減・市民に寄り添う役割をさらに進めます。



木村 眞雄
【公明党】
厚生文教常任委員
予算決算常任委員
広報広聴委員

「大衆と共に」の原点を貫き、徹して市民の声を市政に反映させていきます。



北田 麗子
【誠翔会】
厚生文教常任委員
予算決算常任委員
広報広聴委員

市民の皆さんの元氣と勇氣に繋がるような活動に努めていきたいと思えます。



中島 裕介
【誠翔会】
厚生文教常任副委員長
予算決算常任委員
広報広聴委員会

この一年も自分の成長のため、努力を惜しまぬよう一生懸命取り組んで参ります。



西田 忠
【凜風会】
産業建設常任副委員長
予算決算常任委員
広報広聴委員

二年目を迎え、デザインの思考で甲賀市の進むべき未来を選択していきます。



瀬古 幾司
【凜風会】
議会運営委員
総務常任委員
予算決算常任委員
広報広聴委員
公立甲賀病院組合議会議員

新しい豊かさに繋がる政策かどうかを精査し、提案し、市政の前進に繋がります。



岡田 重美
【日本共産党甲賀市議員団】
議会運営委員
総務常任副委員長
予算決算常任委員
広報広聴委員

「住民こそ主人公」市民の声が生かされる市政となるよう力を尽くします。



堀 郁子
【公明党】

議会運営委員
総務常任委員
予算決算常任委員
広報広聴委員
甲賀広域行政組合議会議員

皆様に幸せを感じていただける
甲賀市を目指してさらに頑張って
参ります。



奥村 則夫
【誠翔会】

総務常任委員
予算決算常任委員
広報広聴委員

皆さんの声を聞き、市政に届ける
役目と行政をチェックする役目
を果たします。



小倉 剛
【誠翔会】

産業建設常任委員
予算決算常任委員
広報広聴委員

アフターコロナを見据えて、皆
様と共に自慢のできる魅力的な甲
賀市に全力で。



西村 慧
【凜風会】

総務常任委員
予算決算常任副委員長
広報広聴委員
甲賀広域行政組合議会議員

未来を担う一人として持続可能
な市、信頼される政治を創る。



林田 久充
【凜風会】

議会運営委員長
産業建設常任委員
予算決算常任委員
広報広聴委員

今年も政策研究、提案に努め、
区や自治会の役割と変化に向き合
います。



橋本 恒典
【凜風会】

議会運営委員
産業建設常任委員長
予算決算常任委員

今年も市の発展と子どもたちの
健やかな育ちをめざして頑張ります。



田中 喜克
【無党派】

厚生文教常任委員
予算決算常任委員
広報広聴委員

「万里一空」の思いを胸に、変ら
ずの目標と変らずの努力に努めま
す。



山岡 光広
【日本共産党甲賀市議員団】

監査委員
厚生文教常任委員
予算決算常任委員
広報広聴委員
甲賀広域行政組合議会議員

地道にコツコツと粘り強く、一
歩一歩。毎週発行のニュースも近
く1000号に。



田中 将之
【公明党】

産業建設常任委員
予算決算常任委員長
広報広聴委員
公立甲賀病院組合議会議員

誰ひとり取り残さない生活者の
灯台めざし、共創で持続可能なま
ちづくりを。



田中 新人
【凜風会】

議会運営委員
厚生文教常任委員
予算決算常任委員
広報広聴委員
甲賀広域行政組合議会議員

緊張感と使命感を持ち皆様の声
を大切に、市民目線で活力ある甲
賀市を進めます。



橋本 律子
【凜風会】

厚生文教常任委員長
予算決算常任委員
公立甲賀病院組合議会議員

環境未来都市宣言の実現に向
け、市民一人ひとりが取り組み躍
進できる一年に！

11月臨時会議案審議

第5回臨時会は11月10日に開催し、専決処分1件、人事案件5件、補正予算1件の審議と議会人事の改選を行いました。

人事

◆公平委員会委員の選任

岡田 茂一郎氏(水口町)
(全員賛成にて同意)

◆固定資産評価審査委員会委員の選任

辻 恵子氏 (甲賀町)
高橋 靖展氏(京都府)
久保 弘氏 (水口町)
(全員賛成にて同意)

◆監査委員の選任

山岡 光広氏(議会選出)
(全員賛成にて同意)

議会人事

◆正副議長

議長 谷永 兼二
副議長 戎脇 浩

専決処分

市道交差点において、市有自動車及び相手方自動車双方の不注意による事故により、相手方を負傷させたことによる損害賠償の報告。賠償金 131万4407円

◆主な質疑

Q 損害賠償額が大きい、事故の詳細を聞きたい。今後事故を起こさないよう対策は考えているか。

A 雨天による視界不良、交差点付近の工事により相手方車両の確認が遅れ追突した。前方確認が不十分だった。対策としては、交差点に何らかの措置ができるか県と協議したい。

議案

◆一般会計補正予算(第7号)

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増をふまえ、生活応援クーポン事業が実施されるほか、福祉施設や私立保育園、農業者、貨物自動車運送事業者等に対する支援に関する予算。
補正額 2億8343万9千円

●生活応援クーポン事業

2億2618万7千円
市民の生活支援のため、市内店舗で使用できるクーポン券を1世帯5千円配布するための経費
●福祉施設等事業継続支援金支給事業
1308万5千円
市内福祉施設に対する支援金

●放課後児童クラブエネルギー価格高騰対策支援事業
17万9千円
市内民設民営児童クラブに対する支援金

●私立保育園等エネルギー価格高騰対策支援事業
1087万3千円
私立保育園等に対する支援金

●肥料価格高騰対策緊急支援事業
2500万円
農業者に対する生産費支援

●貨物自動車運送事業者支援事業
811万5千円
市内貨物自動車運送事業者に対する支援金

◆主な質疑

Q 生活応援クーポン券を1世帯5千円とした根拠は。配布時期、使用期間はどうか。

A 市民生活の下支えとして給油1回分程度の5千円の補助とした。12月下旬から1月下旬にかけて、ゆうパックにて配布、使用期間は2月1日から3月19日まで。

Q クーポン券について、1世帯でなく世帯の人数に応じて配布することは検討しなかったのか。

A 検討はしたが、今回は1世帯に対しての配布とした。

Q 福祉施設支援金について、定員一人当たり通所系は7千円、放課後デイは3千円とした根拠は。

A 6月議会で入所系は24時間2万円の支援金としたことから、通所系は8時間として7千円、放課後デイは放課後部分のみの3千円とした。

Q 今回は価格高騰による対策ということだが、業種が一定絞られた補正予算となったのはなぜか。

A 他の事業者については、6月議会で小規模事業者等の支援策を講じた。今後は特に影響が著しい事業について支援必要と考える。

会派構成が変わりました

2022年11月時点

会派とは、議会において主義や理念、政策を同じくする議員が集まり、議長に届出を提出している団体。甲賀市議会では二人以上の議員で構成します。

- 凜風会 8人
- 誠翔会 6人
- 公明党 3人
- 日本共産党甲賀市議員団 3人
- 会派に所属しない議員 3人

12月定例会議案審議(条例)

12月定例会は、令和4年11月29日から12月22日までの会期で、新規条例案件12件、人事案件2件、補正予算9件、その他8件(指定管理3件・財産処分2件・契約締結2件・広域行政組合格約1件)、また、議員提案の意見書案6件を審議、議決しました。

PICK UP

議案第78号

甲賀市水口医療介護センター条例の全部を改正する条例
当センターの機能および運営方法を見直すため、条例の全部を改正

条例で診療所は、その運営管理を指定管理業者に委託することができることから指定管理者制度を導入するもの。あわせて併設されている介護老人保健施設ケアセンターささゆりは閉所とするもの。

主な質疑

Q 指定管理にすると、なぜ経営改善が図れるのか。

A 民間活力を導入して抜本的に改善する方が良いとの結論を得た。本制度ですぐに改善できるものではないが、必要な部分にはしっかりと支援をする。

反対討論

経営困難な医療機関を指定管理にすれば収支改善が図れる保証はない。公的医療にふさわしい支

援が必要であり、診療所の指定管理者制度導入とケアセンターささゆりの閉所を前提とした改正案に反対。



賛成討論

公的医療の役割について、民間による代替手段がないものではない。また、民業圧迫状態にもなっている。財政面から見ると、一般会計から多額の繰入金があり、経営の抜本的改善のためには指定管理が望ましいとの答申に沿った改正案である。

採決 賛成多数にて可決

PICK UP

議案第84号

公共施設使用料見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
公共施設使用料を見直すため、関係条例の一部を改正

主な質疑

Q 減免基準はどのようなレベルで設定されるのか。

A 条例制定後、施行規則で制定する。

Q 受益者負担の考え方は、公共施設の利用にそぐわないのではないか。

A 施設の利用を通して公共サービスを受けている対象者が明確な場合は、受益者負担の考えは適正である。

反対討論

受益者負担の適正化を図るとする使用料の値上げではなく、公共施設を利用しやすくする充実策が大事である。よって反対。

賛成討論

公共施設を利用する人、しない人の負担の公平性を確保することは必要である。また、大きな負担にならないよう激変緩和措置も講じられている。よって賛成。

採決 賛成多数にて可決

PICK UP

議案第87号

甲賀市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

主な質疑

Q 柏木公園は、有料施設の対象となっていないが、その理由は。

A 「公共施設使用料見直しに係る基本方針」の中で、類似施設は各施設の平均値で統一することとなっている。同公園の施設は、他の有料

施設と同様に整備されているので、料金徴収の対象とする。

反対討論

公共施設は市民に利用されてこそ意義がある。有料化や値上げは、利用者の減少につながり、公共施設の設置趣旨にも反する。

12月定例会議案審議 (予算)

賛成討論

同基本方針に基づき改正されたものであり、また類似施設や他市

の状況を参考にされたもので適切と考える。

採決 賛成多数にて可決

PICK UP

議案第90・107号

一般会計補正予算(第8・9号)

信楽保育園・幼稚園及び伴谷こども園整備事業費のほか物価高騰の影響による公共施設の光熱費の増額予算など及び出産・子育て支援事業予算を可決

〈補正予算第8号〉

一般会計歳入予算の補正

市税の増額

2億5千万円

県支出金の減額

5287万円

市債の増額

9億10万円

主な質疑

Q市民税、固定資産税増加の要因は。

A市民税は、300万円以下の所得階層の一部が600万円以下の階層へスライドしたと考えられ、また固定資産税では、償却資産分で、製造業の業績が好調であったことと太陽光発電事業者の過年度分を含む申告の提出によるもの。

物価高騰の影響による歳出補正

公共施設の管理事務費増額

7670万円

庁舎や保育園、小中学校、給食センターなどの施設での管理事務費の増加に伴う増額分を計上。

主な質疑

Q異常な物価高騰で一番影響を受けているのは何か。

A内訳は、電気料金が6110万円、燃料費が1560万円となっており、これら費用の対前年度比は、電気料が約13倍、燃料費が約2倍となっていることによるもの。

その他の事業の歳出補正

信楽保育園・幼稚園施設整備事業

8億2400万円

令和6年開園を目指し施設を整備するもの。

伴谷統合認定こども園整備事業

1億4970万円

令和5年4月の開園を目指し進められている整備事業に伴う旧園舎解体工事に係る経費を追加するもの。



解体予定の伴谷保育園(左奥)
(右手前は令和5年4月開園予定の認定こども園)

介護老人保健施設事業会計補助

3千万円

介護老人保健施設ケアセンターささゆりの減収に伴う補助金を増額するもの。

主な質疑

Q増額の具体的理由は何か。

A収入予算額に対し収入見込額が約7300万円不足となり、現預金で補ったが、なお3千万円が不足となったもの。

歴史文化都市構築補助事業

4500万円

観光客誘致に取り組むため、団体旅行に対する補助金を増額計上するもの。

主な質疑

Qこの事業の実施による効果は何か。

A継続的な観光施策を展開し、また年度をまたぎ実施することで切れ目なく市外からの観光誘客を促進することにより、地域活性化に繋げることにより、5300万円の経済効果と潜在的波及効果が期待できると考えている。

採決 全員賛成で可決

〈補正予算第9号〉

出産・子育て支援事業

9058万円

妊娠期から出産・子育て期までの一貫した伴奏支援及び経済的支援を実施するため出産・子育て応援交付金を支給するもの。

採決 全員賛成で可決

総務常任委員会 日誌

総合計画、財政、自治振興、危機管理等に関わる委員会です。



委員長 小河文人 副委員長 岡田重美 福井進・西村慧・瀬古幾司・堀郁子・奥村則夫

■10月21日

公共施設使用料の見直しに係る基本方針(案)のパブリック・コメントの結果及び方針策定、地域情報基盤のあり方、自治振興会によるまちづくり、投票所等の見直し等

■11月17日

自治振興会と区・自治会の整理、市政に関する意識調査の結果等

■12月15日

議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正、市職員の定年等に関する条例の一部改正、市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部改正、公共施設使用料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定、コミュニティセンター条例の一部改正等

■12月20日

自治振興会のあり方についての検討結果

所管事務調査

自治振興会と区・自治会の整理について

自治振興会によるまちづくりが機能するために、地域の実情に応じた運営ができるよう、これまでの経緯を踏まえて、自治振興会の在り方や自治振興交付金等について整理がされました。

主な質疑

Q 区・自治会、自治振興会とのすみ分けについて、規則で整理するというが具体的にどのような内容を想定しているのか。

A 身近な困り事等は区・自治会のコミュニティ活動で、自治振興会は区・自治会で着手困難なこと、防災、人材育成など自治振興交付金を活用し担っていただきたい。

Q 区・自治会、自治振興会両方を行政区とするメリットは何か。

A 該当する内容により区・自治会、自治振興会のどちらが行政との窓口の役割を担うか選択できると、また自治振興会がエリアを包括できる。

Q 地域要望は直接担当課へ提出も可能か。

A 直接担当課へ提出も可能。

付託議案審査

市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部改正

国家公務員の特別職の給与改定に伴い、議員の期末手当を引き上げるため条例を改正するもの。

主な質疑

Q 引き上げの根拠は。

A 直近1年間の支給実績において、民間と公務に差があることから引き上げとなった。

反対討論

コロナ禍や物価高騰により市民の暮らしや営業は深刻であり、議員報酬引き上げは市民の理解を得られるものではない。

賛成討論

● 人事院や県人事委員会の調査を考慮したもので適切な改正。
● 一般の公務員と同等で言えば引き上げ率は妥当。

採決▶ 賛成多数にて可決すべきものと決定

コミュニティセンター条例の一部改正

佐山コミュニティセンターの追加及びコミュニティセンター使用

料の改定による条例改正。

主な質疑

Q 利用者の年齢層、稼働率は。

A 高齢者が多く、日中の利用率は高い。

反対討論

コミュニティセンターは気軽に使える公共施設。使用料値上げは公共施設の目的にそぐわない。

賛成討論

光熱費等も上がっている。今回の使用料見直しは市民にとって公平公正なもの。

採決▶ 賛成多数にて可決すべきものと決定



佐山コミュニティセンター

厚生文教常任委員会 日誌

市民の生活と福祉、医療、介護、子育て、文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。



委員長 橋本律子 副委員長 中島裕介 田中喜克・田中新人・北田麗子・山岡光広・木村真雄・戎協浩

■10月17日
 新型コロナワクチン接種状況、市公式LINEアカウントを利用した「相談窓口」、(仮称)甲南総合認定こども園設置・運営事業者内定について、公共施設利用料見直しに係る基本方針(案)に関するパブリックコメントの結果及び方針策定、防犯灯の管理について等

■11月17日
 水口児童クラブ整備事業、史跡紫香楽宮跡第1期整備計画、介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定、自立生活支援ホーム「きぶかわ」の今後の方向性等

■12月14日
 甲賀市水口医療介護センター条例の全部を改正する条例の制定、甲賀市立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定 令和4年度甲賀市介護保険特別会計補正予算 かぶか21子ども未来会議等

A ICTを用いて園児の安全管理

Q 最近、起っている園児の送迎の事故について、どのような対策を取るか。

A 特色ある保育教育は、最大限、尊重する。その上で、危機管理や感染マニュアル、地域との関わり等の基本的な部分は、公立同様の対応を引き継いでいただきたい。

Q 民営化移行に際して、現在の公立園の保育教育内容を基本としながら、民営化園の特色ある運営が実施されるよう取り組むとあるが、各園の保育教育方針は最大限尊重されるのか。

主な質疑



認定子ども園イメージ

所管事務調査
 民営化後の保育園・こども園の課題について

Q 契約はしっかりできているか。

A 土地は市所有のままである。話があったが、今回は見送りとした。

Q 2か所の建物は無償譲渡だが、土地はどうなるのか。また、土地について譲渡の話はなかったか。

A 水口町虫生野にある建物を社会福祉法人「しがらき会」に無償譲渡するもの。施設は昭和55年及び61年に官舎として建築されましたが、平成18年から法人が老朽化した施設を修繕しながら使用されてきました。今後の円滑な事業運営をしていく上で法人から財産譲渡申請がされました。

財産の処分について

付託議案審査

文部科学省およびスポーツ庁から通知が出されたことを受け、「甲賀市部活動の地域移行に関する検討会議」が開催されます。国や県との情報共有により、甲賀市モデルが構築されます。

部活動の地域移行について

を行う。その上で、保育者が目視で安全確認を行う。

Q 契約はこれからになる。土地は無償貸与となるが、使用用途の条件をつけて契約をする。

A 契約はこれからになる。土地は無償貸与となるが、使用用途の条件をつけて契約をする。

Q 探決 全員賛成で可決すべきものと決定

報告事項
防犯灯の管理について
 市内にある防犯灯の設置・維持管理基準は、集落内およびその周辺は区・自治会、地域間は市となっています。しかしながら、合併前に旧町で設置した経緯の違いから、市が集落内で半数近く管理する地域がある一方、現在の管理基準通りに管理されている地域もあり、不均衡が生じており、長年の課題となっています。課題解決に向けて検討が重ねられた結果、電気料金は全て市が負担、設置・維持管理も全て市が行うこととで、調整が進められていきます。



甲賀町神地先の市道

産業建設常任委員会 日誌

産業、建設、観光振興、上下水道、生活環境に関わる委員会です。



委員長 橋本恒典 副委員長 西田忠 小倉剛・田中将之・林田久充・糸目仁樹・西山実

■10月21日

所管事務調査 第2次甲賀市環境基本計画について、新名神高速道路6車線化工事の現況について等
報告事項 データセンター誘致に向けた取り組み状況について等

■10月27日・28日

視察研修 広島県廿日市市：廿日市市役所駅前周辺整備事業について 岡山県矢掛町：道の駅及び伝建地区を生かした観光政策とまちづくりについて

■12月16日

付託案件審査 甲賀市公園条例の一部を改正する条例の制定について等6件を審査
報告事項 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会

所管事務調査

第2次甲賀市環境基本計画について

甲賀市では、平成29年7月に「第2次甲賀市環境基本計画」を策定し、環境の保全と創出に関する施策を総合的かつ計画的に推進しており、その進捗状況について報告確認しました。

主な質疑

Q 生ゴミのたい肥化事業に市民への広がりが見られないが。

A 生ごみを燃やすよりCO₂の削減につながっている。取り組みを推進していきたい。

Q 肥料高騰が続いている。下水汚泥の肥料化推進を検討しては。

A 調査検討を進めている。

新名神高速道路6車線化工事の現況について（現地視察）

10月21日、新名神高速道路6車線化工事の現況について現地視察を行いました。

佐治川橋では橋の下から橋梁上に階段で昇り橋梁拡幅工事の現場を見学、その後新名神高速を走り6車線化施工現場を確認、更に

報告事項

信楽川橋に移動しインクライン（工事用ケーブルカー）で地上87mの工事現場を視察しました。



工事が進む6車線化工事（佐治川橋）

データセンター誘致に向けた取り組み状況について

データセンター拠点の地方分散に向け補助事業者となる地方自治体の募集が行われ、2次募集において本市が採択されました。今後はデータセンター設置を希望する事業者と事業化に向けた調整が進められます。

視察研修

10月27日、広島県廿日市市で廿日市市役所駅前周辺整備事業につ

いて、翌28日、岡山県

矢掛町で道の駅及び伝

統的建造物群保存地区

を生かした観光政策と

まちづくりについて

研修しました。今後は

貴生川駅とその周辺整備事業並びに道の駅あいの土山のリニューアルや代表質問等に活かしていきます。



鉄道とバス停が隣りあう廿日市市役所前駅

付託議案審査

公園条例の一部を改正する条例の制定について

公園設備について、施設の用途廃止等及び使用料の改定を行うため、条例の一部を改正するもの。

主な質疑

Q 公共施設の利用料金値上げは利用者減へとつながるのでは。

A 類似の施設や他市の状況を参考にしながら適当と考える。

採決 賛成多数にて可決すべきものと決定。

22人の議員が市の考えを問う

令和4年
12月8日・9日・12日・13日

目次

令和4年 第6回甲賀市議会定例会一般質問（通告順）

順番	氏名	質問事項	順番	氏名	質問事項
1	にしむら けい 西村 慧	1 オーガニック給食の段階的導入について 2 2025大阪・関西万博への参画について 3 本市の人口ビジョンについて	9	たなか あらと 田中 新人	1 金属スクラップ堆積場に対する法的規制について 2 アグロエコロジーに基づく農業の推進について 3 消防団員の加入促進等について 4 新型コロナウイルス感染症対策について
2	たなか よしかつ 田中 喜克	1 貴生川小学校児童の安全通学に杣川架橋の歩行者専用橋を 2 信楽高原鐵道の新駅設置で「日本遺産の物語づくりに弾みを」について 3 貴生川駅周辺整備に欠かせない虫生野希望ヶ丘線と水口北内貴線の整備について 4 杣川、野洲川源流に至る「杣イチ」「野洲イチ」の周遊自転車道路の整備を 5 甲賀市の魅力「水・緑多き自然」を守るため行動を先駆ける「甲賀市環境未来都市」づくりで	10	ふくい まさむ 福井 進	1 働きやすい市役所づくりで「市民サービス」の向上を 2 再生可能エネルギーを軸とした持続可能なまちづくり
3	きむら まさお 木村 眞雄	1 不登校傾向のある子どもへの対策について 2 災害時における避難施設の整備について 3 コミュニティスクール推進に向けての取り組みについて	11	おぐら つよし 小倉 剛	1 日野町南比都佐地区への給水について 2 空き家対策について
4	ほり いくこ 堀 郁子	1 子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨について 2 障がい者の生活支援について 3 パス・自家用車での子ども置き去り防止へ 4 自治体マイナポイント事業について	12	はしもと りつこ 橋本 律子	1 より安心安全な道路環境整備を 2 地域共生社会の新たな仕組みづくり強化を
5	いとめ まさき 糸目 仁樹	1 農機具購入補助による農業支援 2 学校のコロナ対策現状について 3 大阪関西万博への今後の関わり方	13	せご いくじ 瀬古 幾司	1 道路除草状況の検証 2 少子化対策について 3 公共施設の省エネ化について
6	にしやま みのる 西山 実	1 梅が丘、広野台の雨水排水対策の強化を 2 旧国道307号の内貴橋～貴生川2丁目の歩道の整備を 3 信楽高原鐵道への引き続き財政支援について 4 公立甲賀病院のあり方について	14	おくむら のりお 奥村 則夫	1 保育士確保について 2 ウッドスタート宣言について
7	やまおか みつひろ 山岡 光広	1 学校図書館の充実について 2 超過密化・大規模化している三雲養護学校の分離・新設について 3 市職員の時間外労働と健康保持について 4 区及び自治会と自治振興会のあり方について第3弾	15	はしもと ひさのり 橋本 恒典	1 子どもたちの運動・スポーツ環境について 2 市の電気使用料の削減について
8	おかだ しげみ 岡田 重美	1 市営住宅を整備し住まいの保障を 2 带状疱疹ワクチン接種助成について 3 障害者福祉車両運賃助成事業について 4 性暴力被害者支援について 5 土山蒲生近江八幡線(県道41号線)の整備について	16	なかにま ゆうすけ 中島 裕介	1 ゴルフツーリズムの推進について 2 今後の開発が進む甲賀地域について
			17	たなか まさゆき 田中 将之	1 行政評価とEBPMについて 2 甲賀市のブランディングについてVol.1 3 グリーンライフ・ポイント制度の導入について
			18	にしだ まこと 西田 忠	1 甲賀市のブランド戦略について 2 公共交通・施設の観光利用について
			19	えびすわき ひろし 戎脇 浩	1 市職員の副業緩和策について 2 まる一むの有効利用について
			20	きただ れいこ 北田 麗子	1 共感マーケット戦略について 2 第36回あいの土山マラソンのふりかえりと今後
			21	おがわ ひみと 小河 文人	1 デジタル田園都市実現に向けて本市の取り組みを問う 2 甲賀市道路整備基本計画について
			22	はやしだ ひさみつ 林田 久充	1 指定管理者制度の現状と課題について 2 夢の学習事業の可能性と課題について

■答弁者の凡例

総合政策部理事	総政理事	こども政策部長	こ政部長	産業経済部長	産経部長
健康福祉部長	健福部長	総合政策部長	総政部長	産業経済部理事	産経理事
危機・安全管理統括監	危機統括監	市民環境部長	市環部長	選挙管理委員会事務局長	選管局長
上下水道部長	水道部長	教育委員会事務局次長	教育次長		

公職選挙法メモ

議員は選挙区内に病気見舞金を出すことが禁止されています。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

西村 けい 凛風会



Q オーガニック給食の段階的導入を
A 関係部局連携のもと検討を進める

Q 国の目標値は、2050年に25%だが、本市における水稲有機栽培(有機JAS)の状況は。

産経理事 令和4年度は、177.9アールであり、全体の栽培面積0.04%程度に留まる。

Q 今後の有機栽培拡大に向けたサポート体制は。

産経理事 スマート農業及び県と連携した技術支援を行う。

Q 学校給食へのオーガニック米導入の考えは。

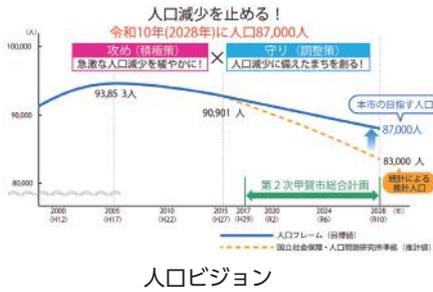
市長 いくつかの課題があるが、未来を担う子どもたちへのより良い給食は、重要な責務だと考える。

Q 校外学習で2025大阪・関西万博訪問を。

教育次長 会場での学びは大変意義があると考えるが、課題も踏まえて、早く検討を進める。

Q 目標人口(2028年)8万7千人の達成に向けた所見は。

市長 持続可能な自治体経営における最大の課題は「人口減少」であり、この目標達成に向けて総力を結集していかなければならない。



田中 喜克 無所属



Q 杉川歩行者専用橋で児童の安全を
A 貴生川駅周辺特区構想で方向示す

Q 登下校時、多大な危険性のある貴生川小学校児童の通学路に「杉川歩行者専用橋」新設を。

建設部長 歩行者・車両の明確な分離は非常に有効であり、「杉川歩行者専用橋」設置も策定中の貴生川駅周辺特区構想の中で方向性を示す。また、飯道山登山ルートとしての観光面も含めての歩道橋の必要性も精査していく。

Q 貴生川駅と希望ヶ丘を結ぶ虫生野希望ヶ丘線及び野洲川をまたぐ水口北内貴線の整備は。

建設部長 虫生野希望ヶ丘線は延長約2.1km、現在、道路詳細設計、地質調査、路線用地測量を実施中で工事着手時期は未確定、国道307号と平面交差。水口北内貴線は令和2年度から道路概略設計、地形測量を年次実施。事業量が多大となることから県道として整備を要請中。また、広域幹線道路網の機能を発揮するため、主要地方道草津伊賀線まで延伸の必要を認識。



木村 眞雄 公明党



Q 災害時のトイレ対策について
A 備品や設備の充実に取り組み

Q 不登校傾向の子どもの居場所づくりとして、校内適応支援教室を設置してはどうか。

教育次長 居場所として校内適応支援教室も選択肢の一つである。必要な人員や空き教室の確保などの課題もあるので、他府県、市町の先行事例も参考にしつつ、児童生徒や学校の実情に即した適切な場の設定を研究する。

Q 災害時のトイレ対策について、今後どのように整備しようと考えているか。また、本市の防災対策方針について伺う。

危機統括官 簡易トイレや携帯トイレなどの関係備品の充実を図ると共に、マンホールトイレや簡易トイレ、仮設トイレなどの災害時のトイレ設備について、関係部局と協議・整理し、充実が図れるよう取り組み。防災対策において、地域の自主防災力を一層強化・支援すると共に、積極的な防災啓発の推進に取り組み。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

健康部長 地域生活支援拠点としてグループホームでの生活体験を試行している。さらに登録施設を増やす。虐待件数は令和4年度、10件通報あり調査し2件判断した。分離保護等行う。管理職1名が関わる。子育て支援は個別に相談に応じる。遊具は掲示含め協議する。



障がいの有無に関わらず共に遊べる遊具

健康部長 個別通知を行い、啓発に努める。
 健康部長 障害者総合支援法改正を受け、障がい者が親なき後、住み慣れた地域で暮らすための支援、障害者施設はどうか。障がい者への虐待防止の取り組みや子育て支援はどうか。スポーツの森に障がいの有無に関わらない共に遊べるインクルーシブな遊具を設置し、掲示しては。

Q 障がい者の親亡き後の支援充実を生活体験実施、登録施設増を目指す



産経理事 農業において初期投資や機械更新の費用が重いことは認識している。地域の中心的経営体である担い手への農地集積や集約化等を図るほか施設園芸など経営規模が小さくても収益性の高い経営への転換を推進している。農業機械導入については、引き続き、国の制度の活用を軸に支援したいが、要件が厳しい面もあるので、市の単独事業を積極的に活用できるような支援する。



良い農機具が買やすい農業に

産経理事 農業において初期投資や機械更新の費用が重いことは認識している。地域の中心的経営体である担い手への農地集積や集約化等を図るほか施設園芸など経営規模が小さくても収益性の高い経営への転換を推進している。農業機械導入については、引き続き、国の制度の活用を軸に支援したいが、要件が厳しい面もあるので、市の単独事業を積極的に活用できるような支援する。

Q 農機具購入補助で農業支援を国と市の制度を積極的に活用推進



建設部長 梅が丘は、中央雨水幹線の整備により、排水機能の改善を目指す。広野台西も計画的に雨水排水対策を講じる。市内7か所の地下道(アンダーパス)について、監視をもとに通行止めの対策を行う。
 危機統括官 「吸水土のう」を有効な資機材として講習や防災訓練で紹介し備蓄する。
 健康部長 歩道が狭いうえに、雑草が繁茂している旧国道307号の歩道の整備、側溝水路の対策を。
 建設部長 歩道の除草はパトロールを強化する。側溝水路の安全対策として、側溝の視認性の向上のために、水路際の外側線を引き直す。
 信楽高原鉄道に対して、県と連携して財政支援を国に強く働きかけるとともに、市としての今後の支援の考え方を伺う。
 市長 信楽高原鉄道は地域の市民生活を支える重要な公共交通機関、大切な観光資源としての役割から、筆頭株主として経営を支えていく。

建設部長 梅が丘は、中央雨水幹線の整備により、排水機能の改善を目指す。広野台西も計画的に雨水排水対策を講じる。市内7か所の地下道(アンダーパス)について、監視をもとに通行止めの対策を行う。
 危機統括官 「吸水土のう」を有効な資機材として講習や防災訓練で紹介し備蓄する。
 健康部長 歩道が狭いうえに、雑草が繁茂している旧国道307号の歩道の整備、側溝水路の対策を。
 建設部長 歩道の除草はパトロールを強化する。側溝水路の安全対策として、側溝の視認性の向上のために、水路際の外側線を引き直す。
 信楽高原鉄道に対して、県と連携して財政支援を国に強く働きかけるとともに、市としての今後の支援の考え方を伺う。
 市長 信楽高原鉄道は地域の市民生活を支える重要な公共交通機関、大切な観光資源としての役割から、筆頭株主として経営を支えていく。

Q 大雨浸水被害の防止対策の強化を計画的に雨水排水対策を講じる



冠水した東名坂アンダーパス

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

市長 速やかに是正するよう適正な職員配置と人事配置を指示した。抜本的な職場環境の改善策についても指示した。



総務部長 令和3年度の時間外総時間数は117768時間、うち特例業務は約8%。職員の健康保持に配慮するとともに、所属内で業務分担の見直し、適正な人員配置に努めている。

教育次長 蔵書数や全体のバランスを見極めながら図書費の増額、司書増員についても検討。

Q 令和3年度の市職員の時間外勤務手当は約2億8千万円、過労死を超える長時間労働が常態化している。早急には正が必要。11月度の退庁時間を調査すると「午前置業以降に退庁」が多すぎる。異常ではないか。実態調査を。

Q 市職員の時間外勤務が常態化
A 適正な職員配置を指示した

やまおか みつひろ
山岡 光広
日本共産党



建設部長 甲賀土木において、今年度用地調査着手、来年度道路詳細設計の予定。



整備が待たれる土山蒲生近江八幡線

市環境部長 性犯罪は許されないもの。啓発活動を行う。

Q 土山蒲生近江八幡線の整備は。

市長 類似サービスとの公平性確保の視点から検討し、制度の変更を行ったところである。

Q 甲賀市は犯罪被害相談が県内で4番目に多く、50%以上が性被害の相談。性被害を防ぐためジェンダー平等について啓発を。

建設部長 他市町も同様の条件、行政サービス制限条例施行規則の対象でもあり除外は難しい。

Q 障害者福祉車両運賃助成に対し、世帯全員が市民税非課税の条件が追加され、対象外となる人が出ている。条件について再度見直しを。

建設部長 他市町も同様の条件、行政サービス制限条例施行規則の対象でもあり除外は難しい。

Q 市営住宅について、税滞納者への配慮に関する国の通知に基づき、「市税等の滞納がない」という入居条件を除外すべき。

Q 市営住宅の入居条件見直しを
A 税滞納における条件除外は難しい

おかだ しげみ
岡田 重美
日本共産党



健康部長 県の動向と同じで、県の6%が本市の感染である。

Q 市内のコロナウイルス感染症の動向は。

危機統括監 消防団員が勤務する事業所に、年度当初に市長、団長の連名で消防活動への便宜供与依頼を要請している。

Q 消防団協力事業所表示制度については。

産経理事 生態系と調和のとれた農産物の生産を行う有機農業や自然農法などによる農業のことで、そのような農業の取り組みも必要だが、化学肥料や農薬を活用して面積当たりの収量を増やすことも農家所得向上のため重要で、バランスを取り、持続可能な農業を推進する。

Q アグロエコロジーに基づく農業への転換は。

市環境部長 資源物は、廃棄物でないことから、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の適用外で屋外保管を規制する法令等はない。

Q 屋外保管に関する条例の制定はできないか。

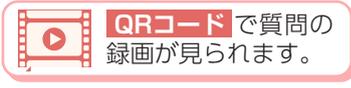


金属スクラップ堆積場

Q 金属スクラップ堆積場法的規制は
A 屋外保管を規制する法令等はない

たなか あらと
田中 新入
凜風会





一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

Q 再生可能エネルギーを軸とした持続可能なまちづくりを進めることは。

市長 太陽光・水力・バイオマス等、他市のモデルとなるような「環境未来都市」の実現を目指す。



復旧が進む土砂災害の現場

建設部長 年度内を目的に「ガイドライン」を作成し、その効果を見極めたい。

Q 太陽光発電設備の設置による災害を防ぐために新たな規制強化を図ることは。

市長 できる限り職員と向き合い、風通しの良い組織風土の醸成と働き方改革等の推進で市民サービス向上につなげる。

Q 組織改革で市民サービス向上を全職員でサービス向上に努める

Q 適切な人事評価と勤務条件等の改善で、やりがいのある職場づくりを図ることは。

総務部長 納得性の高い人事評価の運用と超過勤務の解消等に向けた職場改善に努める。

Q 組織風土の改革(ハラスメントの解消)で、公平・公正な市政の推進を図ることは。

福井 進
無所属



水道部長 具体的な事項を説明しながら、施設更新までに可能な限り交渉を進めていく。

Q 今後のスケジュールと方策は。



南比都佐地区

水道部長 令和10年度以降以降に管路更新工事が必要、令和3年度の試算による概算事業費は、管路及び配水池等にかかる更新工事やそれに伴う設計委託、舗装復旧工事等を含めて約18億円程度必要と考えている。

Q 今後、老朽化した水道管更新が必要となってくるが、その時期と事業費は。

Q 当時、土山町が整備した経緯は。

水道部長 昭和41年10月12日に将来にわたり日野町の一部に給水するために必要とする事項を定めた「土山町上水道の区域外設置に関する協議書」を交わし、昭和42年度まで南比都佐地区における給水整備工事を行い、現在まで給水されているもの。

小倉 剛
誠翔会



Q 南比都佐地区への給水の現状は

A 現在、日野町と交渉中

教育次長 調整を図る。

Q 通学路の整備要望は地元・学校連携を。

産経部長 事業主が高齢者就業機会確保のための措置の内、雇用によらない目的事業を自ら又は委託団体が事業実施できる。

Q 高齢者就業機会確保とあるが公共事業支援を含め、事業所の担う許可範囲はどこまでか。

改正の努力義務で65才〜70才までの就業機会確保

Q 100歳大学を開催。地域活動の担い手として活躍頂く環境づくりに努めている。

健康部長 現在、シニアを育成する学び舎「100歳大学」を開催。地域活動の担い手として活躍頂く環境づくりに努めている。



期待されるシニア人材講座

Q 高齢者雇用安定法制度導入により、人口減少化する情勢から、働く意欲のある誰もが年齢に関わりなく能力を発揮できる環境整備が図られるもの。70才までの雇用や、社会参加、機会創出等に伴う課題を伺う。今行政が取り組まれている講座や体制づくり・今後の計画は。

Q 地域共生をすすめる人材養成を

A 高齢者雇用確保を視野に努力

橋本 律子
凜風会



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

幾司 風 会
瀬古 凛 会



Q 道路除草の執行状況はどうか
A 実施箇所は要望含め計画通り実施

建設部長 昨年度26kmに対し本年度は56km実施。しかし年2回であり一時的に繁茂の状態もあり今後も継続的に除草を実施する。

令和5年度の道路除草の予算方針は。
建設部長 除草実施範囲の拡大に向けた継続的な予算確保に努める。

結婚したいが出会いのない方が多い。甲賀市版マッチングアプリを開発しては。
総務部長 滋賀県のオンライン型結婚支援センター「しが結」を活かし、当市は対面での相談支援を行う。

Q 公共建物をZEB化すべきでは。
総務部長 新築時は、ZEBに基づき環境に配慮した設計を行なっていく。改築時においても国の補助制度を使い、カーボンニュートラルを推進していく。



ZEBの技術(環境省HP)

則夫 翔 会
奥村 誠 会



Q ウッドスタート宣言の今後は
A 木育のまち甲賀へ

産経理事 甲賀のスギやヒノキを利用し

て甲賀市らしさを取り入れ、東京おもちゃ美術館の認定を受け、複数の木のおもちゃを作成したい。

Q 木育の推進のために、林業振興にも寄与できる拠点施設の必要性は。
産経理事 木のおもちゃに触れ合う機会を提



木のおもちゃで遊ぶ子どもたち

供することが大切で、まずは、既存の園と子育て施設への積極的な導入を進め、今後の利用者のニーズを把握しながら、調査・研究する。

Q 林業・木材に関わる方の持続可能な発展について。
市長 循環型林業による持続的な森林整備に

取り組むため、甲賀市産木材の公共施設等の建築物への利用に加え、林業の担い手確保のために、滋賀もりづくりアカデミーとの連携と県への県立高校への林業学科の設置を要望している。

恒典 風 会
橋本 凛 会



Q 子どもたちの運動スポーツ環境は
A 運動時間は減少、スマホ等は増加

教育長 体育の授業を除く1日あたり

1時間以上運動をする子どもたちの割合が、小学生男子47・8%、小学生女子28・3%、中学生男子77・6%、中学生女子57%であり、中学生が小学生より高いのは部活動での運動によるものだと考えられる。

Q スクリンタイムの現状と影響は。
教育長 学習以外のスクリーンタイムは、令和3年度の全国調査の結果によると1日2時間以上は小学生男子62・4%、小学生女子53・2%、中学生男子70・1%、中学生女子67・3%で、小学生よりも中学生、女子よりも男子の方が多い傾向が見られる。



国のACPのパンフ

Q 幼少期における身体活動、運動・スポーツの意義について伺う。
教育長 幼少期において遊びを中心とする身体活動を十分に行うことは多様な動きを身に付けるだけではなく、心肺機能や骨形成にも寄与するなど生涯にわたって健康を維持し、豊かな人生を送るための基盤になると考える。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



いることを考慮しつつ、市として今後のスポーツ行政をどのように進めていくかを明確にし、組織の在り方を検討していく。

Q 甲賀市のゴルフ事業に対する考えを伺う。
市長 ゴルフのまち甲賀市として、戦略的に取り組むべき財産であると考えている。
Q ゴルフ事業に対しての還元率その内訳は。
総務部長 ゴルフ事業に関連する歳出の決算額は350万円で、所管部局は、教育委員会事務局であり、還元率は0.6%となる。
Q スポーツとしてのゴルフと観光としてのゴルフの市の予算の付け方について伺う。
副市長 ゴルフは貴重な資源であり、今後もゴルフ関連の事業に市として力を入れて取り組むと共に、県内の半数の市ではスポーツ部局の担当を市長部局として

なかしま ゆうすけ
 中島 裕介
 誠 翔 会



Q ゴルフツーリズムの推進は
A 戦略的に取り組むべき財産である

市環境部長 市は環境と経済が調和した持続可能なまちの実現とゼロカーボンシティの実現を目指しており、環境を意識した行動ができるひとつづくりは重要。この制度の導入により成果を実感できるよう取り組みを検討。



Q グリーンライフ・ポイントとは、環境省が実施する事業で環境に配慮した行動に対してポイントが付与される制度。日常の行動に対してポイント化することで、一人ひとりが環境問題を自分ごととし、ライフスタイルの転換への気運を高めようとするもの。制度を導入している自治体は、企業と連携しているケースが多く、ポイントの発行や上乘せ率については、自治体と各事業者の判断となり、地方創生臨時交付金も活用できる。制度が新設されるのではなく、企業等が展開しているサービスに上乘せされる点により、簡単に転嫁できるが、導入してはどうか。

たなか まさゆき
 田中 将之
 公 明 党



Q グリーンライフポイント制度導入
A 環境を意識したひとつづくりは重要

建設部長 近江鉄道は2024年以降「上下分離方式」に移行予定である。周辺自治体と知恵を絞って観光需要を喚起する方策が必要であるが。
建設部長 沿線自治体と協力し利用促進や観光需要を掘り起こす為の施策推進に努める。
Q 市役所の土日に空いた駐車場を、近江鉄道を利用して観光する際のパーク&ライドの無料駐車場として開放しては。
総務部長 一定の制約や条件はあるものの活用いただけると考える。

Q 近江鉄道の「全線無料デー」では、普段の利用者数の約12倍に相当する約3万8千人が利用した。甲賀市の公共交通についても同じような企画が有効ではないか。
建設部長 近江鉄道による検証を参考にしながら本市の信楽高原鉄道やコミュニティバスと連携した取り組みができないか考える。



「全線無料デー」で混雑する水口石橋駅

にしだ まこと
 西田 真之
 凜 風 会



Q 公共交通・施設の観光利用について
A 利用促進は行政課題と考える

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

えびすわき 戎脇 誠
ひろし 浩 翔 会



Q 市職員の副業を認めてはどうか
A 市民生活の向上にも有効性がある

Q 公務員の副業の緩和が全国的に広がっており、総務省も推進している状況である。背景には働き方の多様性ととも、高齢化等に伴う人材不足がある。特に農業分野において、果樹の収穫時期の副業が全国的に顕著である。甲賀市においても、お茶の摘み取り時期やかぶせ茶の作業、稲作の有力な補助労働力と考えられる。市職員も副収入が得られる上に、副業を通して本業のプラスになる経験や知識が身に着く。また人手不足に悩む農家等は、若い人材を得られることで、事業継続や新たな事業展開に繋がるなど、双方にとって有効な策であると考えられる。

総務部長 農業を含む副業の要件を定めた「地域貢献活動応援制度」を令和5年4月より開始するよう準備を進めている。

Q まるーむにストリートピアノを移設し、芝生広場での音楽イベントなど施設を活性化することで「にぎわい」の創設を図ってはどうか。

総政部長 施設の強みを活かして「にぎわい」等ができるよう、イベント誘致を図る。



アールブリュットの魅力あふれる、ストリートピアノ(碧水ホールにて)

きただ れいこ
北田 麗子 誠 翔 会



Q あいの土山マラソン大会に託児を
A 大会の魅力として検討していく

Q 備品の更新計画は立っているか。
教育次長 施設備品・倉庫の建具などは長年更新できていないものもある。次年度に向け財団と協議し更新を図る。

Q 滋賀県中学駅伝の結果を受けての今後のランナー育成について。
教育次長 専門的技術・指導力を持つ人材を活用し、育成支援に努める。また、生涯スポーツとしてランニング人口の裾野が広がる環境づくりも進めていく。

Q 仮設トイレの設置方法の見直しを。
教育次長 スタート付近のトイレ設置増設は今年度の状況を確認した上で検討する。女性専用トイレについては他の大会での事例を参考に検討する。

Q 本市における土山マラソンの位置づけは。
市長 「スポーツでしあわせを感じるあいの甲賀」をまさに体現できると重要なスポーツイベントと認識しており、今後甲賀で取組んでいく。



おがわ みみと
小河 文人 誠 翔 会



Q 市民中心のデジタル化推進を
A 誰一人取り残されない展開を行う

Q デジタル化を原則に照らした規制の見直しについて問う(アナログ規制の改善点)。
総政理事 国が進めるアナログ規制の点検、見直しでは、目視規制・実地監査・定期検査・書面掲示・常駐専任・対面講習・往訪閲覧の7項目の分類により規制の洗い出し作業が進められている。本市でも、「地方公共団体におけるアナログ規制の点検・見直しマニュアル」に基づき作業を進める。

Q 医師がいない地域の対策に、遠隔診療がある。医療Maas(マース)の本市の可能性は。
総政理事 医療Maasは、僻地医療のほか、災害時の医療拠点としての活用なども考えられる。エリアが広大で高齢化が進む本市では、今後検討が必要な事業だと認識する。



Q 新たな生活サービスと市民の繋がりは。
総政理事 「誰一人取り残されないデジタル化」を促進するため、全ての人が恩恵を受けられるよう、来所不要な市役所の実現等、デジタル活用による市民ファーストの一層の展開に努める。

一般質問

QRコードで質問の録画が見られます。

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

はやし だ ひさみつ
林 田 久 充
凛 風 会



Q 指定管理者制度の現状と課題は
A 原則公募で広く募集に努める

Q 指定管理者制度と委託事業の違いは。

総務部長 指定管理者制度は、行政処分に基づく管理権限の委任。管理権限も施設の使用許可も指定管理者ができる。自主事業も指定管理業務の一環として事業実施が可能。

Q 多くが非公募であるがその理由と課題は。

総務部長 59施設のうち、公募が17件、非公募が42件である。これまでの実績や業務評価等、また、地域の管理が望ましい場合がある。しかし、漫然と非公募で継続することは課題。

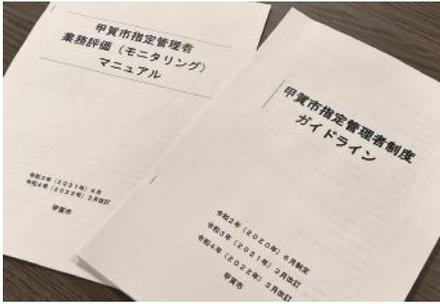
Q 担当課の書類審査による立ち入り調査や監査の実施状況は。

総務部長 過去に施設の適正な管理、業務の履行等3団体実施。

監査委員 監査については、今期行政監査をする予定。

Q 業務評価(モニタリング)についての実施は。

総務部長 本格導入をした令和3年度分が提出済み。現在、公開に向け準備中。



指定管理者制度ガイドラインとモニタリングマニュアル

毎日新聞近畿市町村 広報紙コンクール

優良賞



受賞した5月号表紙

第34回近畿市町村広報紙コンクール(毎日新聞社大阪事業本部主催)において応募総数82件の中から「あなたとつなぐ甲賀市議会だより」が優良賞に選ばれました。審査評では、春らしく穏やかな、ほっとする表紙で、眺め入ってしまう。議員発議の決議案可決のページは国内外の懸案を自分事として議員の役目をアピールしている。また、「お茶」に着目しての学びも公開して地域の特性を再認識するよう呼び掛けていて素敵であると評価をいただきました。課題としては、もう少し行を少なくし、行間を設けると、一層よくなり読みやすくなるなどのご指摘を受けました。さらなる工夫を凝らし、より親しみやすい、繰り返し読みたくなるような議会だよりを目指してまいります。

用語 カイセツ

一般質問

個々の議員が市政全般にわたって、執行機関に対して事務の執行状況や方針、計画等について質問をいたします。発言時間 30分。

会派代表質問

会派を代表して、市政全般などについて、執行機関に対して事務の執行状況や方針、計画等について質問をいたします。(3月定例会・市長改選後)

発言時間 30分 + 3分 × 会派人数。

委員会代表質問

委員会を代表して、各常任委員会内の所管事項について、執行機関に対して事務の執行状況や方針、計画等について質問をいたします。発言時間 30分。

組合議会報告

甲賀広域行政組合議会

甲賀広域行政組合職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

提案理由

派遣した職員を定数外とする規定を新たに設けるため。

採決 全員賛成にて可決

甲賀広域行政組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

提案理由

人事院勧告に伴う給与改定等及び管理職の処遇改善による管理職手当の増額に対応した割合の改正を行うため。

採決 全員賛成にて可決

令和4年度甲賀広域行政組合一般会計補正予算(第2号)

提案理由

人事院勧告、職員異動等による人件費見込み、地方債の変更、契約の確定等による歳入歳出予算の補正措置、また消防費における債務負担行為を追加するもの。

採決 全員賛成にて可決

令和4年第4回臨時会

(12月23日)

甲賀広域行政組合議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

提案理由

申し合わせ事項によって協議が必要とされる事案が発生した場合、議会開会当日に開催するとしていた全員協議会について、申し合わせ事項から削除し議会会議規則に全員協議会の規定を新たに設け、議会開会当日に関わらず、議長が招集することとするもの。

採決 全員賛成にて可決



公立甲賀病院組合議会

令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額16億7853万1千円、歳出総額16億7769万9千円

採決 全員賛成にて認定

一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ15千円を増額し、17億7021万7千円とするもの。

採決 全員賛成にて可決

第2期中期目標を定めることについて

地方独立行政法人公立甲賀病院が達成すべき業務運営に関する目標について、令和5年4月1日から令和9年3月31日までの4年間の期間として、①市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項、②業務運営の改善及び効率化に関する事項、③財務内容の改善に関する事項、④社会課題への対応を定めるもの。

採決 全員賛成にて可決

令和4年第2回定例会

(10月26日)

病院組合議会議員全員協議会

議会同日、地方独立行政法人公立甲賀病院令和3年度の業務実績に関する評価結果報告並びに、第1期中期目標期間の業務実績に関する見込評価結果について、報告がありました。全体評価として「中期目標、中期計画達成に向けてやや遅れている。」との評価です。

一般質問

一般質問は西山実議員より、新型コロナウイルス発熱外来の対応状況、地方独立行政法人として3年目の評価について質問がありました。



地方独立行政法人公立甲賀病院

議会だより ができるまで

今回は年4回発行している議会だよりがどのようにして作成されているのか紹介します。甲賀市議会だよりは全国でも珍しい議員手作り広報誌です。現在広報広聴委員会広報部会10名で作成に当たっており、市民の皆さんにより分かりやすく、親しみやすい紙面づくりに努めています。

第1回委員会
(会期中)

紙面構成・役割分担・スケジュール調整など

裏表紙『あなたとつなぐ』コーナー

一般質問等の原稿執筆

取材



定例会終了

議員各人が担当
今年の抱負など



第2回委員会
第3回委員会

特集記事などの編集作業



集まった原稿の修正・校正

常任委員会等の原稿執筆

- 音声記録
- AI 文字おこし
- 自分のメモ等をもとに原稿作成



文字数
減らせますか

第4回委員会

表紙写真の決定

写真撮影・
カメラの目も
広報委員で



全員で読み合わせ

誤字脱字



伝え方

第5回委員会

最終チェック後…

完成



お聴きした声を活かす

- 03 深川区〔甲南町〕10/15 開催 まちづくりと地域福祉について
- 04 希望ヶ丘学区まちづくり協議会〔甲南町〕10/17 開催
地縁型自治振興会の運営について
- 05 宮地区自治振興会〔甲南町〕10/21 開催
市内各地域に応じたオーダーメイドの行政を
- 06 野尻区〔甲南町〕10/22 開催
甲南町野尻口交差点付近通学路の安全対策について
- 07 池田団地区〔甲南町〕10/23 開催
アオサギ・白鷺の営巣による隣接住民の迷惑対策について
- 08 綾野自治振興会〔水口町〕10/16 開催
地域別ランドデザインについて
- 09 貴生川自治振興会〔水口町〕11/21 開催 貴生川地域活性化ビジョンに向けて
- 10 水口地域区長会理事会その2〔水口町〕11/22 開催

甲賀市議会が開かれた議会をめざし、広聴活動として市民のみなさんから多様なご意見をお伺いすることを目的に、意見交換会を開催しています。昨年8月から12月末まで、議長と3常任委員長を除く全議員が4班に分かれて10回開催させていただきました。前号に引き続きそれぞれの地域での開催内容を報告します。



政策提案へつなげる

10回の意見交換会を通して、それぞれの地域の課題をお聴きしました。

内容は、道路の危険箇所や鳥獣被害、また、道路の草刈りや空き家の増加、防犯灯設置状況やコミタクなど公共交通の地域間格差などの身近な生活環境の課題や、農業従事者の高齢化・減少による農業への将来不安や農地利用の規制緩和によるUIJターンの促進などの農業課題。



04

また区・自治会や自治振興会のあり方については、多くの地域で意見がありました。現在、行政が進める自治振興会のあり方についての考え方や地域のブランドデザインについて

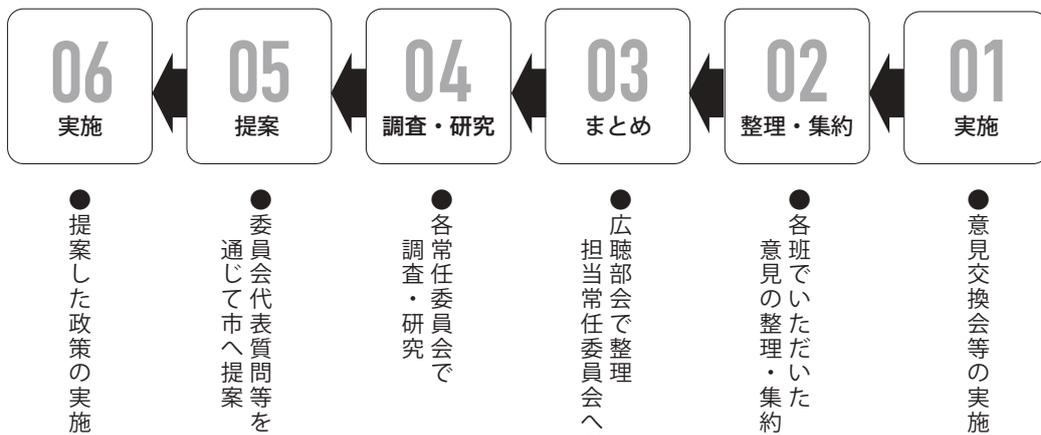
では、市内地域によってそれぞれ状況が異なる中で、同じように進めるのは難しいこと、また、地域によってはうまく進んでいるところなどさまざまな意見がありました。

また、地域の民生児童委員の選任については、なかなか引き受けてもらうことが難しく、最終的には区長が引き受けざるを得なくなるなどの課題も。民生児童委員の任期は3年であり、4月に区長就任してすぐに選任の依頼を受けるが、全く状況もわからない中で、苦勞されている状況があります。意見として、選任についての依頼を早くすること、その時の区長から次の区長への引き継ぎがうまくできるのではないかと、また、民生児童委員さんも含めて取り組むことによりスムーズに引き継いで行けるのではないかなど、具体的な意見もいただきました。

このように、いただいた、たくさん意見は議会として整理・集約して、最終的には政策提案として市に提案して実行できるようにしていきます。

意見交換会は「住民の思いについて、議会を通じて行政にとどけるルート、流れを繰り返してほしい」、「また機会を持つてほしい」という声をたくさんいただくことができました。

広聴活動から政策提案までのフローモデル



シリーズ「あなたとつなぐ」

議会だよりのタイトル「あなたとつなぐ」をテーマに、市民の皆さまの活動を広報広聴委員会で取材し、ご紹介いたします。



えこころステーション

今回は、えこころステーションを取材させていただきました。フードバンク活動からみんなの居場所へ

●活動のきっかけは

民生委員のときに子ども食堂に関わったことを機に、社会福祉協議会からお話があり、令和2年6月、東海道沿いの空き店舗（水口町八坂7-2）を借りて、活動がスタートしました。

甲賀市版フードバンクと子ども食堂の活動支援、地域の居場所づくりを目的にしています。

●「えこころ」とは

エコ（環境）と心かけた言葉で、まだ食べられるのに捨てられる食品ロス問題と環境負荷の削減、また食材等を必要とされる方を支援するために始まった活動です。

●活動を支えてくださる多くの方々に感謝

ここには地域の方々や地元企業様からお米や野菜、冷凍食品やレトルト食品、またお菓子など多くの寄贈があり、生活に困っておられる方や地域で実施される子ども食堂などに提供されています。

地元企業や地域の皆さんのほんの少しの気持ちがあつてこそ活動ができています。少しでも多くの人に活動を知ってもらい、ここに集まる品物を本当に困っている方の元に届けたい。

●議会だよりについて、感想をお聞かせください。

毎回読ませていただいています。今後とも市政のチェック機能として、しっかり発信してください。



毎週月曜日・水曜日・金曜日
13:30~16:00に開所
※祝日、年末年始、お盆間などは休み



当日はフードバンクびわこを通じて食料品が届きました



編集後記

▶2023年、新たな思いで、それぞれ皆様の1年が始まりました。
▶私たち議員も年始に誓った「抱負」を胸に活動をスタートしています。▶議会だよりで昨年より市民の方々の活動を掲載。広報委員が取材訪問生の活動内容を紹介しています。▶「このような部門で」「このような地域活動が」「活動にはこんな悩みが」と、今まで知らなかった事柄を次々とお聞きます。▶でも、活動されている方は、目を輝かされ、今でなく常に先を見て、笑顔でお話をされていることに感銘を受けました。▶今年も市民の皆さんのそばに置いていただける「あなたとつなぐ・議会だよりの」作りに頑張ります。(広報部会 田中 喜克)

議会の傍聴ができます。

本会議と委員会は誰でも傍聴することができます。ネット中継もしています。

3月定例会の予定

- 2月16日 9時30分～
本会議(第1日)議案上程・提案説明・施政方針
- 2月28日 9時30分～
本会議(第2日)代表質問
- 3月2日 9時30分～
本会議(第3日)議案審議・付託等
- 3月3日 9時30分～
本会議(第4日)一般質問
- 3月6日 9時30分～
本会議(第5日)一般質問
- 3月7日 9時30分～
本会議(第6日)一般質問
- 3月
8・9・10・13・14・15
16・17日 9時30分～
委員会
- 3月23日 9時30分～
本会議(第7日)委員長報告・質疑・討論・採決

2月						
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				
3月						
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

カメラの



12月10日(土)甲南第一自治振興会主催によるイベント『だいいちメルカート』が晴天の下開催されました。昨年に引き続き2回目の開催で多くの来場者で賑わっていました。その中の催しの一つとして、今では珍しくなった杵を使つての餅つき体験が行われ、大勢の親子連れが列をなしました。写真はその中の一コマで、4人兄弟の上のお子さんが下の子を手伝いながら代わることができる杵を振る姿が微笑ましく、撮影させていただきました。



(写真撮影 西田 忠委員)